

(別紙の2)

## 自己評価及び外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	会社の理念である「コミュニケーション」と「生活リハビリ」に基づき、施設目標「本人の出来ることを生かし発揮できる場を」を掲げ、共有と実践に努めています。	毎月1回の全体会にて、理念に基づき、利用者一人ひとりの出来る事を見極めて、言葉がけや態度など日々のサービス繋げていくよう、全職員共有して実践に努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	春祭の獅子舞いに行き、地区の方々と一緒に見物しました。9月末に花火大会も予定しています。	散歩に出かけ近所の人たちと挨拶を交わしたり、地域の文化祭にて、作品の展示や祭り等の見物を行っています。運営推進会議のメンバーから情報を頂き、地域とのつきあいに取り組もうとしています。	利用者が地域とつながりながら、受け入れられ、地域の一員として関わりを積極的に持つことを、更に期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	居室の空いた時に、短期受け入れができるよう手続きしました。5類になったので要望があれば、職場体験など受け入れていきたいと思えます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている。	家族代表・民生委員・地主さん・地域包括センターの職員さんに、2か月に一度出席していただき、ご利用者様の状況・サービス提供・健康状態・苦情・事故報告・収支報告をし、助言や要望等お聞きし、業務に活かさせていただいております。	ヒヤリハットや事故事例等の防止に向けた改善策、身体拘束の実施状況、運営上の課題等をメンバーに報告し、それらを検討しています。これらの意見等を全体会で話し合い、サービスに活かされるよう努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町の担当者と運営やサービスの課題について相談にのっていただき、サービスの質の向上に取り組んでいます。	入院中の空き部屋活用のショートステイ、口腔ケア加算等々、制度の分からない事は行政担当者に相談するなど、連携を図っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内研修実施計画にて、身体拘束について年4回の研修を行っております。身体拘束について正しい理解と、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。玄関の施錠は防犯の面から、夜間のみ行っております。	身体拘束廃止に向けた指針や利用者一人ひとりの特徴などを把握して、利用者が自分らしく生きられるよう見直しています。事故事例の検討を行い、又、研修後の気づきを記録して、利用者の生活を整えるケアの実践に努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	管理者及び職員は、虐待が行われないように注意を払い、社内研修にて虐待防止に関する勉強会を行い、理解を深めていくよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	パンフレット等の情報提供をしています。自立支援については、受診時に利用の声掛けや薬局の変更届を行っています。必要と思われる利用者や家族には、利用に繋げていられるよう支援していきたいと思ひます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所前には見学していただき、契約時には契約書及び重要事項説明書の読み合わせを行い、理解と納得をしていただいたうえで、契約をしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議にて御家族様代表・ご利用者様へ出席していただき、意見・要望をいただいております。また、家族が来訪された際や電話などでも、意見・要望をお聞きし対応させていただきます。	利用者が、職員に気軽に意見等を言えない事があるので、気づくよう職員間で共有を図っています。家族等からは、運営推進会議や来訪された時、電話等で意見を聞くように努めています。意見等は全体会で話し合い、反映しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度、開設者・管理者・職員全員が参加する全体会議を行っており、意見を出し合って話し合う場を設けています。会議以外でも意見や要望・相談が出来る環境づくりに努めています。	トイレトペーパーの使い方や職員配置の希望、介護の方法など、職員のアイデアや気づきを話し合い、運営に取り入れています。定期的に運営者と職員の話し合いの場もあり、提案を聴く機会を設け反映しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	努めていると思ひます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	初任者研修や実践者研修、法人外の研修も、希望があれば勤務しながら受けられるように機会を作っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	研修会に参加した際など、同業者の方との交流ができるよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前にご本人様と面談し、困り事や不安なこと、要望などをお聴きし、入居に関して安心していただけるよう、信頼関係の構築に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前に御家族様と面会し、困り事や不安なこと、要望などお聞きし、入居に関して安心していただける様に、何でも話ができる関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所する前にご本人様・御家族様とお会いし、話をしていく中で、何が困っており、何が必要なか状況を確認し、支援の見極めに努めています。実状に応じて社内・他のサービス機関へ繋げています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の気持ちを尊重し、日常生活を一緒に過ごす中で、職員は日々コミュニケーションを図り、良い関係が築けるように努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様には常日頃から、報告・相談をし、協力していただいております。御家族様との絆が切れないよう、面会緩和や外出などしていただいております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	5類になってからは、感染防止対策をしながら短時間の面会や外出などをさせていただいております。また、日常の様子や行事の様子を、3か月に一度、文章と写真にてお伝えしています。	電話や面会の連絡を取り持ったり、馴染みの公園で食事をしたり、又、かかりつけ医への通院後に家族と食事をするなど、今迄の関わりを持つよう支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	感情の起伏や作り話などで混乱が起こらない様に配慮しながら、孤立しないよう、気が合う方と席を近くにしたりなど配慮しております。ご利用者様同士で支え合えるような関係を、築けるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も関係性が終わる事はないので、相談や支援の要請があれば対応させていただきます。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションの中で、どのように暮らしたいのか、希望や意向の把握に努めています。困難な場合は、家族から情報収集したり、興味を示す・意欲がある・表情が良いなどから本人の立場に立って汲み取ったりして、職員で話し合いながら検討しています。	日々の関わりの中で声をかけ、把握に努めています。困難な場合は、利用者が今迄暮らして来た様子を家族から聞いたり、一日の流れの中で様子を記録したりして、こうして欲しいという気持ちをくみ取るように職員間で話し合っています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所決定時、居宅の介護支援専門員・御家族・ご本人から情報収集し、生活歴や病歴、馴染みの暮らし等、今までの様子の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝のバイタルチェック、排泄、食事の摂り方等を情報共有し、朝のたまゆら体操を、輪になって顔を見ながら行い、心身の状態把握に努めています。掃除、調理、手作業やレクリエーションを通して、一人ひとりの理解力や出来る力の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人の要望や意向に沿い、本人のできる力を見極めて、日常生活がより意欲的で活動的に、また良い表情で過ごすことができるように、家族や職員間で話し合い計画作成しています。	楽しい時間を持ちたい！好きな歌を歌いたい！今迄に作った刺し子を文化祭に出品したい！家族との時間を大切にしたい！など利用者から思いや意見を聞き、又、家族からは生活情報提供書に意見等をもらい、日々のモニタリングを重視して、チームで作る利用者主体の計画となっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ほのぼのシステムに食事・水分量・排泄・バイタル他、日々の様子を記録し、また申し送りには職員の気付きや状態の変化を記録、職員間で共有確認しています。状態の変化に応じて介護計画も見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご利用者様の変化において、社内OT(作業療法士)に相談し、見てもらった中での対応をしています。医療連携を生かして、御家族様やご利用者様の負担軽減にも努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍の為、地域との交流が難しい状況でありましたが、5類になってからは三味線や琴、ハンドケアの方々を呼んで楽しみを増やしています。地域の文化祭に、ご利用者様の刺し子の展示を予定しています。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	今までと同様に継続的な医療が受けられるよう、ご本人様や御家族様の希望を大切に決めていきます。受診時にはご利用者様の生活の様子や変化、心配事などを情報提供し、適切な医療が受けられるようにしています。	利用者や家族が希望するかかりつけ医となっており、基本通院等は家族同行の受診となっています。その際、通院用の生活情報提供書を作成して普段の様子や変化を医師に伝え、適切な医療を受けられるよう支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師とは必要な相談ができる体制になっております。緊急時・異常時は速やかに報告し、指示を仰ぎ対応できるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院担当者と連絡を取り合い、情報交換を行い、できるだけ早期に退院できるよう相談しています。退院後、安心して生活が継続できるように、病院関係者との関係づくりを行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所契約時から重度化に対応していない事、共同生活が困難になってきた時は、次の施設への申し込みと住み替えをお願いします。その関係者にはご本人の状況や好みなど詳しく伝え、暮らし方やケアの継続性等に配慮していただけるよう働きかけています。	事業所として、看取りについての対応を契約時に説明しています。その中で本人や家族にとってどうあったら良いのか、重度化した時は主治医に相談して適切な支援が受けられるよう、また納得して安心できるよう、話し合いを繰り返しています。職員も利用者一人ひとりの情報を共有し取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	消防署に依頼し、救命救急講習会を実施しています。緊急時は緊急時マニュアルに沿って対応しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	当法人では自然災害発生時における業務継続計画(BCP)を作成し、それを元に各職員と研修会をしております。また年2回消防訓練を行い、避難等の確認をしています。	地元消防団に事業所内を見てもらい、地域の防災訓練を当事業所で実施する事により、協力体制を築く事が出来ています。会社としての業務継続計画があり、職員研修を行い、災害対策に努めています。	利用者アンケートに書かれていた災害への不安や、様々なリスクに対して検討する事が望まれます。又、訓練実施後の課題に対する対策など、踏み込んで検討されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スピーチロックの研修をし、言葉や声掛けの大切さを勉強しました。プライバシー情報の取り扱いにも注意しています。	スピーチロックの研修を行い、研修後の感想を職員一人ひとりが文章で提出することにより、日々のケアの見直しを行っています。誘導時の声掛け等、さりげない言葉かけを心掛けて、生活の中でその人らしい姿を現せるよう努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の思いや希望など、日常の会話などから聞き出し、自己決定出来るよう働きかけています。日常生活で「これがしたい」という事がないご利用者様には、多方面の角度からアプローチをし、引き出せるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や体操の時間など、一日の過ごし方にメリハリをつけていますが、疲れていれば居室で休んでいただいたり、好きな事、やりたい事など、一人ひとりのペースに合わせて過ごしていただいています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝の整容、入浴時は、その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援しています。定期的に美容師さんに訪問していただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節の食材や畑で採れた野菜を取り入れています。食べたい物など要望をお聞きし、誕生日会や行事の時に提供しております。食事の片付け等も、個々の力に合わせ、職員と一緒にしています。	事業所の畑から収穫された旬の野菜や、地主さんからのお裾分けが食卓に美味しく揃っています。利用者は、食器洗いや食材の皮むき、味付けを職員と一緒にしています。お誕生日のメニューは、利用者の好きな味ご飯やお饅頭など、食事を楽しんでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一日の食事量・水分量を記録、また普段と違う様子が見られた際は申し送りをし、職員が周知できるよう努めています。栄養士の考えたメニューを元に食事提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行っており、個々に合わせた声掛けや一部介助をしています。口腔内の清潔保持や、義歯の方には洗浄剤を使用し、汚れ防止に努めています。週一くらいの割合で社内の歯科衛生士に見てもらい、必要時には歯科往診に繋ぎ、治療を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	排泄時の記録を行い、排泄の間隔、状況把握に努め、必要な方には定期的な声掛けや誘導を行っております。排泄の失敗は多くなっていますが、トイレでの排泄をしていただいています。	利用者が立ち上がる時など、職員は一人ひとりのサインを把握して、トイレでの排泄を大切にしています。必要に応じて、主治医に相談するなど、常に一人ひとりについて見直し、個別の支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員は、排便チェック表にて確認し、把握できるようにしています。便秘の方には水分に食物繊維を入れ提供しています。下剤は状況に合わせて服薬していただいております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	入浴日は固定しておりますが、ご本人様の気分や体調に合わせて対応しております。個人に合わせて湯加減の考慮や、入浴剤を使って気持ちよく入浴していただける様しております。	ゆず湯やかりん湯、入浴剤を使って気持ちよく入浴しています。利用者のその日の希望を確認して入浴してもらうなど、それぞれ好みのリンスや化粧品を使用して、個々に合った入浴支援に努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	休息・休憩は、ご本人様の体調や状況に合わせて、自由に休んでいただいております。午睡を設けており、居室の明るさや室温に配慮しています。週一回シーツ交換を行い、清潔保持に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりの内服薬の情報は確認できるようになっており、薬の変更時や頓服が出た時は、申し送り・連絡事項にて、確認・把握するように努めています。症状に変化が出た時は、看護師に報告して指示をもらい対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人の生活歴や状況に合わせて、掃除や調理、作品作りなど一人ひとり出来る事を支援させていただいております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	御家族様が見えた時に一緒に外出してもらっています。季節に合わせて外に出たり、ドライブに行き、花を見たりと外の空気に触れる機会をつくりました。	「どこに行きたいですか?」「町に行きたい。」など、家族に相談して、協力してもらい出かけたり、「外に出て散歩したい。」みんなで、屋外に出て歌を歌ったり、遊歩道を歩いて近所の人と交流するなど、外出を楽しむ支援に取り組んでいます。	

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	御家族様が管理しており、ご本人様が見えるような支援ができておりません。必要時は御家族様が買って来て下さったり、施設でご本様と相談して購入したりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望時には対応できるよう環境を整えています。携帯を所持している方もおりますが、耳が遠いため職員が間に入って、話ができるよう支援しております。手紙のやり取りはありませんが、身内の方から届いた際には、お返しができるよう支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日掃除をし、清潔保持に努めています。温度、湿度を見ながら窓を開けたり、空調を使用して快適に過ごしていただいております。季節の花を飾ったり、日付けを分かりやすく工夫しております。	皆が集うフロアのソファで、気の合った利用者同士が腰かけておしゃべりしたり、そこから見える季節の風景を楽しんだりしています。フロアは季節の花などを飾ったり、本棚に雑誌を並べたりしてあります。今後、外来者の感想などを聞き、更に居心地の良い空間づくりに努める予定です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合う方々と近くの席に座っていただき、お話ししたりゲームをしたりしています。ソファを設置しており、ゆっくり過ごしていただいております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人様の使用している寝具や家具、馴染みのある物を持ってきていただき、飾っていただいております。ご本人の身体状況に合わせ、居室内を安全な動線が確保できるよう努めています。	居室は、本人と家族に相談して部屋作りがされています。家族との写真や大切な家族の位牌がある居室、大事なぬいぐるみなどがある居室、テレビのある居室等、思い思いの部屋作りとなっていて、プライバシーを大切にしながら、安心して過ごすことができる居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物はバリアフリーになっており、居室・トイレ・ホールは分かりやすい設計になっております。居室には名札や居室名を、馴染みのある花の名前にして分かりやすく工夫しております。		